

科目ナンバリング		G-AAA03 83119 SJ31									
授業科目名 <英訳>		平和共生論の基礎 Theory of Peace and Coexistence				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 中溝 和弥			
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 前期	曜時限	金3	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
本演習においては、平和共生論の基礎を学ぶことを目的とする。政治学のディシプリンを中心的に学びながら、各地域への適用可能性を検証する。											
[到達目標]											
平和共生論の理論的な分析枠組みを習得する。その上で、これらの分析枠組みを自らが専門とする地域に適用し、平和共生を実現するための条件を考察する。											
[授業計画と内容]											
本演習で扱うテーマは、次の通りである。なお、受講生と相談し、授業内容を変更する場合がある。											
1．紛争の形態（2回） 2．国家形成 3．ナショナリズム 4．政治体制論 5．民主化論 6．民主主義論（2回） 7．暴力的紛争 8．日常型の抵抗 9．宗教紛争（2回） 10．平和共生の制度化（2回）											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点]											
1．平常点評価（課題、授業への参加状況、授業における発言等）：70％ 2．期末レポート：30％											
の構成とする。											
-----平和共生論の基礎(2)へ続く↓↓↓											

平和共生論の基礎(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

講読文献については、自分の担当回だけでなく、必ず予習するようにしてください。

(その他(オフィスアワー等))

オフィス・アワーの時間は、特に定めません。面接希望者は、随時連絡を取ってください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 53113 LB31									
授業科目名 <英訳>		持続型生存基盤研究の方法 An Interdisciplinary Approach to Sustainable Humanosphere				担当者所属・ 職名・氏名		東南アジア地域研究研究所 教授 河野 泰之			
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	火1	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
In this class we will mainly use review papers written in English to get an understanding of the basic ideas and concepts useful for any approach to the study of sustainable humanospheres, based on natural sciences such as agricultural science and ecology, and informatics.											
【到達目標】											
To understand the basic theories related to sustainable humanosphere studies											
【授業計画と内容】											
The following topics will be covered, with two to three weeks devoted to each. However, depending on students' level of understanding, certain changes might be made. If students require it, lectures may be delivered in English. 1. Hydrological cycles and use and management of water resources (1st to 2nd week) 2. Mechanisms of change in land use (3rd to 5th week) 3. Complexity and management of ecosystems (6th to 7th week) 4. Regime shifts in ecosystems (8th to 10th week) 5. Adaptive Management (11th to 12th week) 6. Human and social modeling (13th to 15th week)											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点】											
Evaluation will be made on the strength of attendance and degree of positive participation in class.											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
(参考書) 授業中に紹介する											
【授業外学修(予習・復習)等】											
Will be indicated in class.											
(その他(オフィスアワー等))											
The instructor hopes for active class participation and expression of opinions. There are no fixed office hours, but students who want to discuss issues directly with the instructor outside class hours are invited to email him at kono@cseas.kyoto-u.ac.jp.											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 83116 LE31									
授業科目名 <英訳>		持続型生存基盤と環境 Sustainable Humanospher and Environment				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 D ' SOUZA, Rohan Ignatious			
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	火5	授業 形態	講義	使用 言語	英語
【授業の概要・目的】											
Debating Future-Natures: a study of essays on Climate Change, Global Warming and Anthropocene Politics. This course will discuss some of the main essays and writings that have set the tone and context for our understanding of Climate Change, Global Warming and Anthropocene politics as linked worlds involving science, politics and meanings.											
【到達目標】											
TBA											
【授業計画と内容】											
Main Readings: 1) Libby Robin, Sverker Sorlin and Paul Warde (ed.), The Future of Nature, Yale University Press, 2013. 2) Bill McKibben (ed.), The Global Warming Reader, OR Books, 2011.											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点】											
TBA											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
(参考書) 授業中に紹介する											
【授業外学修(予習・復習)等】											
TBA											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 53218 LB31									
授業科目名 <英訳>		イスラーム世界論研究Ⅰ The Study of the Islamic World I				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授		東長 靖 長岡 慎介	
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 前期	曜時限	火4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
本講義は、イスラーム世界研究のディシプリンの基礎としてのイスラーム学について、その基礎を修得するとともに、基本問題についての表現・発信能力を身につける。各テーマに関して、基本的な問題を論じると共に、学界および研究の現状を踏まえた論議は行うが、大学院の授業であり、入門的事項は扱わない。											
[到達目標]											
イスラーム思想の基礎的な問題について、正確に知り、理解することを目標とする。イスラーム学はアラビア語を根幹として作り上げられてきた学問なので、概念・術語をアラビア語でどう表現するかはとくに重要である。											
[授業計画と内容]											
イスラーム学の主要なテーマについて(a)講義を行う。必要に応じて、(b)ゼミ、(c)講評会を行うこともある。 以下のような順序で論じる。 1．イントロダクション、2．文献記入法、3．プラクティカル・ランゲージの学び方、4．ユダヤ教、5．キリスト教、6．クルアーン、7．イスラーム神学、8．シーア派、9．スーフィズム、10．哲学、11～14．その他受講生が興味をもつテーマ、15．全体のまとめ。 (a)講義は、参加（出席、質問）を主とする。事前にリーディングが指定されていないときは、特に準備は必要ない。(b)ゼミは、指定されたテキストについて、全員が発表を行う。レジュメまたは発表原稿を必ず用意すること。一人あたりの持ち時間は7分程度。(c)講評会は、指定された原稿を書いたものを持ち寄り、講評を受ける。書かれた原稿を読み上げる以外に、各自の持ち時間はない。なお、言うまでもないが、他人の書いたものを丸写ししたり、どこを引用したか分からないような形で用いることは「剽窃」となる。正規のルールに基づく「引用」は可。											
[履修要件]											
授業開始以前に、東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社（世界史リブレット15）、小杉泰『イスラームとは何かーその宗教・社会・文化』講談社（講談社現代新書）を読了しておくことが望ましい。											
[成績評価の方法・観点]											
以下の4点を総合的に判断する。(1) 講義への参加（出席、質問、討論）。(2) ゼミでのテキスト講読、発表。(3) 講評会での「原稿」提出。(4) 文献リストの作成（イスラーム学＋自己テーマ）											

イスラーム世界論研究Ⅰ (2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

西尾哲夫・東長靖編 『中東・イスラーム世界への30の扉』（ミネルヴァ書房, 2021年）ISBN: 9784623091782（30のトピックから、現代のイスラーム世界を見る。）

[授業外学修（予習・復習）等]

前回の講義で指示された課題がある場合は、それをプリントアウトしたものを提出する。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

イスラーム世界論研究ⅠⅡ(2)

[教科書]

大塚和夫ほか編 『岩波イスラーム辞典』（岩波書店）

小杉泰、林佳世子、東長靖編 『イスラーム世界研究マニュアル』（名古屋大学出版会）

『岩波イスラーム辞典』は毎回の授業に持参すること（CD-ROM版でも可）。『イスラーム世界研究マニュアル』は(b)ゼミのレジュメ作成のための必携書である。

[参考書等]

（参考書）

小杉泰 『9・11以後のイスラーム政治』（岩波書店）

小杉泰 『イスラーム帝国のジハード』（講談社学術文庫）

小杉泰 『現代イスラーム世界論』（名古屋大学出版会）

小杉泰 『イスラーム文明と国家の形成』（京都大学学術出版会）

小杉泰・黒田賢治・二ツ山達朗編 『大学生・社会人のためのイスラーム講座』（ナカニシヤ出版）

末近浩太 『イスラーム主義——もう一つの近代を構想する』（岩波新書）

西尾哲夫・東長靖編 『中東・イスラーム世界への30の扉』（ミネルヴァ書房）

長岡慎介 『現代イスラーム金融論』（名古屋大学出版会）

[授業外学修（予習・復習）等]

本講義は、イスラーム世界論講座のコア科目です。大量の課題を出しますので、講義に向けて入念な予習と準備をしてきてください。

（その他（オフィスアワー等））

受講希望者は必ず10月の初回授業に出席できるように、夏のフィールドワークの計画を立てるようにしてください。（途中参加による成績面での救済措置・フォローアップは行いません）

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 83220 LJ31									
授業科目名 <英訳>		スーフィズム・タリーカ論III Sufism and Tariqa StudiesIII				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 東長 靖			
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 前期	曜時限	水2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
スーフィズム・タリーカ・聖者信仰を研究する際には、さまざまなジャンルの資料が必要となる。本講義では、これらの資料の代表的なものを順次取り上げ、講読していく。アラビア語の文献を読みこなす力を身につけることを目標とする。同時に、文献を読む際に必要な工具書・参考書の使い方も身につける。											
[到達目標]											
アラビア語の文献を読みこなす力を身につけることを目標とする。同時に、文献を読む際に必要な工具書・参考書の使い方も身につける。											
[授業計画と内容]											
上記の研究のためには、理論書、列伝・徳行伝、参詣書、年代記、系譜書、用語集など、さまざまなスタイルの資料を扱えるようになる必要がある。本講義では、これらの資料を丹念に読み込む訓練を行う。毎回、可能な限りの分量を読み、次回はその続きを読んでいく。 これまでに本講義で取り上げてきた主な書目は以下の通り。 クシャイリー『スーフィー派の言表とその意味の書』（2010）：用語集 ナブハーニー『聖者の奇蹟集成』より「アブー・アッバース・アフマド・ティジャーニー」（2010）：列伝 カーシャーニー『スーフィー用語集』（2011）：用語集 ナープルスィー『シリア・エジプト・ヒジャーズ地方の旅における本義と転義』（2011）：地理書 ムハンマド・アフマド・クルディー『幽玄の熟知の扱いについての心の照射の書』（2012）：理論書（修行論） ガザーリー『宗教諸学の再興』（2013）：理論書（代表的なスーフィズム理論書） アブドゥルカーヒル・スフラワルディー『修行者たちの作法』（2013）：理論書（スフラワルディー教団の修行規則を書いたもの。神学との整合性を中心に。） ズィリクリー『人名録』およびカッハーラ『著述家辞典』ほか（2014）：人名辞典 タシュキョプリュザーデ『赤いアネモネ』（2015）：ウラマー・スーフィー列伝 ボスネヴィー『叡智の台座注釈』（2015）：写本 サヌースィー『40のタリーカを支える泉』（2016）：修行法 イブン・アラビー『欲望の解釈者』（2016）：アラブ詩 イブン・ザイヤート『スーフィズムの徒へのまなざし』（2017）：聖者伝（マグリブ） アフマド・ザッルーク『スーフィズムの基礎』（2017）：理論書（マグリブ） 1回目の講義において、いくつかの候補を挙げ、何を選んで読むかを相談して決める。											
[履修要件]											
初級アラビア語を修得していること。											
-----スーフィズム・タリーカ論Ⅲ (2)へ続く↓↓↓											

スーフィズム・タリーカ論Ⅲ (2)

[成績評価の方法・観点]

平常点によって評価する。

[教科書]

授業中に指示する

テキストは当方で用意し、教室で配布する。

[参考書等]

(参考書)

東長靖 『イスラームとスーフィズム』(名古屋大学出版会) ISBN:978-4-8158-0721-4

ティエリー・ザルコンヌ 『スーフィー - イスラームの神秘主義者たち』(創元社) ISBN:978-4-422-21212-8 豊富な図版が特徴。東長靖監修。

東長靖・今松泰 『イスラーム神秘思想の輝き - 愛と知の探求』(山川出版社) ISBN:978-4-634-47475-8 前半はスーフィズム概説、後半はオスマン朝スーフィズム・タリーカ史。

山内昌之・大塚和夫編 『イスラームを学ぶ人のために』(世界思想社)(I-4 東長靖「スーフィーと教団」参照。絶版なので、図書館で借りて下さい。)

その他、教室で指示する。

[授業外学修(予習・復習)等]

アラビア語の原典講読なので、入念な予習が必要である。辞書・参考図書を十分に活用すること。

(その他(オフィスアワー等))

講義前には、十分な準備が必要である。資料中に出てくるクルアーン、ハディースの引用などは、必ず出典を確認してくること。また、詩が出てくる場合も、韻律を調べること。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 83215 LJ31									
授業科目名 <英訳>		オスマン朝スーフィズム論ⅠⅡ The Study of Ottoman Sufism II				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 東長 靖			
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 前期	曜時限	火3	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
オスマン朝のイスラーム思想はその重要性にもかかわらず、いまだ十分に研究されているとは言えない。本講義は、そのなかでも重要なスーフィズムに焦点を合わせる。オスマン朝の思想書は、アラビア語、ペルシア語、オスマン・トルコ語で書かれるが、本講義ではこの内、オスマン・トルコ語のスーフィズム文献に焦点を合わせ、講読を行う。											
【到達目標】											
オスマン・トルコ語の文献を読みこなす力を身につけることを目標とする。											
【授業計画と内容】											
オスマン・トルコ語で書かれたスーフィズム文献の講読を行う。また、必要に応じて、オスマン朝のスーフィズムやイスラーム思想についての講義を行う。											
【履修要件】											
現代トルコ語を習得済みで、かつアラビア語・ペルシア語の少なくともひとつを習得していること。											
【成績評価の方法・観点】											
平常点によって評価する。											
【教科書】											
テキストはこちらで用意する。何を読むかは、受講生と相談する。											
【参考書等】											
（参考書） 東長靖編『オスマン朝思想文化研究』（イスラーム地域研究センター）ISBN:非売品（オスマン朝の思想・文化のいくつかのジャンルについての解題と原典・翻訳）											
【授業外学修（予習・復習）等】											
講義前には、十分な準備が必要である。資料中に出てくるクルアーン、ハディースの引用などは、必ず出典を確認してくること。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 53209 LJ31									
授業科目名 <英訳>		イスラーム社会経済論 Islamic Society and Economics I				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 長岡 慎介			
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 前期	曜時間	金2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
本講義は、イスラーム世界における経済・社会システムについて、その思想と理論・実践の現状、研究の最新動向を学びます。											
【到達目標】											
本講義で取り上げる文献の批判的講読を通じて、自らのイスラーム経済研究をよりブラッシュアップすることをめざします。											
【授業計画と内容】											
授業計画と内容 イスラーム社会経済論の以下の3つのテーマについて、(a) 講義、(b) ゼミ 、(c) ゼミ を行います。 → 近代イスラーム経済学とイスラーム経済論、資本主義とイスラーム経済、ポスト資本主義とイスラーム経済 (a) 講義は、参加（出席、質問）を主とする。事前にリーディングが指定されていないときは、特に準備は必要ない。 (b) ゼミ と は、指定されたテキストについて、全員が発表を行う。レジュメまたは発表原稿を必ず用意すること。一人あたりの持ち時間は7分程度。											
【履修要件】											
この講義は大学院開講科目ですので、イスラーム経済についての基礎的・一般的解説は行いません。基礎的・一般的解説を希望する学生は、学部向け全学共通科目「イスラーム経済論」を受講してください。 また、受講者は、初回授業で提示される読書レポート課題（それぞれA4×2頁以上）に取り組み、4月末までに提出してください。（成績には加味されませんが、この課題の提出が履修自体の要件になります）											
【成績評価の方法・観点】											
成績評価の方法・観点 以下の4項目を足し合わせた形（それぞれ20点ずつ）で成績を出します。 （１）出席点（遅刻はカウントしません） （２）講義への貢献度（質問、討論） （３）ゼミでの発表パフォーマンス （４）期末課題											
----- イスラーム社会経済論 (2)へ続く↓↓↓											

イスラーム社会経済論 (2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

大量の課題を出しますので、講義に向けて入念な予習と準備をしてきてください。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 53207 LJ31									
授業科目名 <英訳>		中央アジア地域研究論 Central Asian Area Studies				担当者所属・ 職名・氏名		東南アジア地域研究研究所 准教授 帯谷 知可			
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	金2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
旧ソ連中央アジア（ウズベキスタン、カザフスタン、クルグズ、タジキスタン、トルクメニスタンはユーラシア大陸の中心部に位置し、ペルシア語／テュルク語とイスラームを歴史的な文化基盤としながらも、ロシア・ソ連文化の波を受け、社会主義とそのもとでの近代化を経験した興味深い地域である。 この地域の現在を理解するための基本的視座を提供することを目的として、その近現代史を振り返る。											
[到達目標]											
旧ソ連中央アジアの重層的な文化基層を理解し、ソ連解体以降生じた変容と新たな研究領域について概要を説明できるようになる。											
[授業計画と内容]											
以下のようなテーマ設定のもとで、15回の授業を行う。 1．地域概念としての中央アジア、中央アジアへの視点（第1回） 2．帝政ロシアの中央アジア征服とその統治（第2～3回） 3．中央アジアとロシア革命（第4回） 4．ソ連体制下の近代化（第5～6回） 5．ペレストロイカと中央アジア、そしてソ連からの独立へ（第7回） 6．独立後のナショナリズムの諸相（第8～9回） 7．中央アジアのイスラーム（第10回） 第11～15回においては、受講者の関心に合わせて、中央アジア関連の研究書の講読や研究発表を行う。											
[履修要件]											
中央アジア地域に関心があること、または中央アジアと比較対照しうる共通項のある地域に関心があることが望ましい。											
[成績評価の方法・観点]											
平常点および期末のレポート。											
[教科書]											
使用しない											
[参考書等]											
（参考書） 小松久男他編 『中央ユーラシアを知る事典』（平凡社）（中央ユーラシアに関する読む事典） ----- 中央アジア地域研究論(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

中央アジア地域研究論(2)

宇山智彦編『中央アジアを知るための60章』（明石書店）（中央アジア地域研究の入門書）
小松久男編『中央ユーラシア史』（山川出版社）
帯谷知可他編『朝倉世界地理講座—人間と大地の物語—5 中央アジア』（朝倉書店）（日本の中央ユーラシア地域研究の近年の成果）
岩崎一郎他編『現代中央アジア論』（日本評論社）（絶版）
宇山智彦・岩崎一郎編『現代中央アジア—政治・経済・社会』（日本評論社）ISBN:978-4-535-55826-7（ソ連解体後の政治・経済・社会研究の基本的視座を示す最新版）
帯谷知可編『ウズベキスタンを知るための60章』（明石書店）ISBN:9784750346373（ウズベキスタン地域研究の入門編）
その他、適宜授業で紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

授業期間中に参考文献等としてここにあげた文献、ならびに授業時に配布する参考文献リストにあげてある文献をできるだけ多く読むようにすること。

（その他（オフィスアワー等））

連絡はこちらへ obiya@cseas.kyoto-u.ac.jp

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 53217 LJ31									
授業科目名 <英訳>		アジア・アフリカ・スーフィズム論 Asian and African Sufi Studies				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 東長 靖 人文科学研究所 准教授 中西 竜也 非常勤講師 鈴木 麻菜美			
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	火2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
イスラーム世界のほぼ全域にスーフィズムは広がっている。その諸相を、思想研究・歴史研究・音楽学など複数のアプローチから分析する。 同一の対象を、別のディシプリン、異なる地域で検討すると、違う側面・共通する側面がともに見えてくる。これからの若い研究者に、学際研究・超域研究の可能性について語る。											
【到達目標】											
アジア・アフリカ地域のスーフィズムについての広い知識を身につけることを目標とする。同時に、相異なるディシプリンをを用いて対象を考察する姿勢も身につける。											
【授業計画と内容】											
おおむね、次の順序で授業を行う。 1．オリエンテーション（担当：全教員） 2～4．思想研究からみるスーフィズム（担当：東長） 5．共通テーマ1からみるスーフィズム（担当：全教員） 6～8．歴史研究からみるスーフィズム（担当：中西） 9．共通テーマ2からみるスーフィズム（担当：全教員） 10～12．音楽学から見るスーフィズム（担当：鈴木） 13．共通テーマ3からみるスーフィズム（担当：全教員） 14．学際研究と地域間比較研究（担当：東長） 15．受講生による発表と講評（担当：全教員） * 共通テーマとしては、たとえば、共生・組織化・地域形成など。											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点】											
平常点（50パーセント）とレポート（50パーセント）による。											
【教科書】											
講義時にレジюме等を配布する。											
【参考書等】											
（参考書） 東長靖・今松泰 『イスラーム神秘思想の輝き - 愛と知の探求』（山川出版社）ISBN:978-4-634-47475-8（前半はスーフィズム概説、後半はオスマン朝スーフィズム・タリーカ史。） ティエリー・ザルコンヌ 『スーフィー - イスラームの神秘主義者たち』（創元社）ISBN:978-4-422-											
								アジア・アフリカ・スーフィズム論(2)へ続く↓↓↓			

アジア・アフリカ・スーフィズム論(2)

21212-8 (豊富な写真が特徴。東長靖監修。)

東長靖 『イスラームとスーフィズム』 (名古屋大学出版会) ISBN:978-4-8158-0721-4 (専門的な論集だが、第1部は本講義に対する視座として有効。)

高橋圭 『スーフィー教団 - 民衆イスラームの伝統と再生』 (山川出版社) ISBN:978-4-634-47476-5 (日本語で読めるタリーカの唯一の概説書。現代エジプトに焦点を合わせる。)

赤堀雅幸編 『民衆のイスラーム - スーフィー・聖者・精霊の世界』 (山川出版社) ISBN:978-4-634-47452-9 (聖者信仰に重点を置いている。)

赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編 『イスラームの神秘主義と聖者信仰』 (東京大学出版会) ISBN:4-13-034187-1 (聖者信仰、スーフィズム[タサウウフ]、タリーカ、サイイド・シャリーフ論の4つのジャンルを取り上げ、概論と個別研究を組み合わせたもの。)

濱田正美 『中央アジアのイスラーム』 (山川出版社) ISBN:978-4-634-34700-7 (中央アジアにおけるイスラームおよびスーフィズムの諸相を解説)

中西竜也 『中華と対話するイスラーム —— 17-19世紀中国ムスリムの思想的営為』 (京都大学学術出版会) ISBN:9784876982738 (中国イスラームに関する専門的論集)

西尾哲夫・東長靖編 『中東・イスラーム世界への30の扉』 (ミネルヴァ書房, 2021年) ISBN: 9784623091782 (30のトピックから、現代のイスラーム世界を見る。)

[授業外学修(予習・復習)等]

講義内でよく理解できなかった点については、参考図書などを用いて復習すること。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 83302 LJ31									
授業科目名 <英訳>		南アジア地域論 South Asian Area Studies II				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授 池亀 彩			
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 前期	曜時限	火2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
This course examines major sociological and anthropological studies of the South Asia and beyond, by taking into account the history of their theories. We will also discuss how to utilize this knowledge in the process of fieldwork and in the writing of the dissertation.											
[到達目標]											
Students will gain an understanding of the basic concepts and theories of sociology and anthropology, and an ability to apply theory to analyze sociocultural practices in South Asia. They will also be able to discuss the way anthropology has developed historically and been used to work on contemporary issues in South Asia.											
[授業計画と内容]											
1 . Introduction 2 . Foundations of Sociology 1) Modernity and the concept of society 3 . Foundations of Sociology 2) Religion 4 . Foundations of Sociology 3) Social Action and social change 5 . Foundations of Sociology 4) Economic transaction 6 . Social Functionalism and its Critiques 7 . Language, Culture and Structure 8 . Interpretive Anthropology 9 . Colonialism and Making of Anthropological Knowledge in South Asia 10 . Practice Theory 11 . After Culture? : Subjectivity and Body 12 . Feminist Anthropology and Gender in South Asia 13 . Anthropology of Development 14 . Diaspora Studies 15 . Anthropology of Science, Technology and Medicine (Contents may change, based on the nature of participants)											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点]											
Active participation and term paper.											
----- 南アジア地域論 (2)へ続く ↓ ↓ ↓											

南アジア地域論 (2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業中に指示する。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワー： 随時

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 83308 LJ31									
授業科目名 <英訳>		南アジア文化論 Theories of Culture and South Asian Area Studies				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 藤倉 達郎 アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授 池亀 彩			
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	火2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
南アジア地域研究からは、他地域の研究にも影響を与える多くの文化理論が生まれた。もちろん、他地域の研究から生まれた文化理論も、南アジア地域研究に適用されている。本セミナーでは、地域研究に資する可能性のある様々な文化理論について検討する。											
【到達目標】											
地域研究に資する可能性のある様々な文化理論を理解し、また応用する能力を身につける。											
【授業計画と内容】											
授業は基本的に文献購読の形式ですすめる。 授業で扱う内容については、オリエンテーションの際に履修者からの希望を聞いて決定する。これまで扱った内容は以下の通り： 宗教と世俗、市民権とデモクラシー、紛争と暴力、先住民性、主体と主体化、身体論、サバルタニティ、価値の人類学理論、アクター・ネットワーク理論、フェティシズム論、感情と情動、記号論											
【シラバス例】 1．オリエンテーション 2～4．宗教と世俗 タラル・アサド著『宗教の系譜』『世俗の形成』， Asis, Nandy. "An Anti-secularist Manifesto"など 5～10．価値の人類学理論 デイヴィッド・グレーバー『価値の人類学理論に向けて』『負債論』など 8～11．民主主義 バルタ・チャタジー『統治されるひとびとのデモクラシー』 12～15．グローバリゼーション アルジュン・アパドゥライ『さまよえる近代』『グローバリゼーションと暴力』											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点】											
平常点によって評価する。											
-----南アジア文化論 (2)へ続く↓↓↓											

南アジア文化論 (2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

毎週、日/英(英語が多い)のリーディング課題が出されるので、履修者はこれを読んだうえでディスカッションのための質問や感想を用意してくること。また各回の担当者はリーディング課題の要約をレジュメにしてもってくること。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 83317 LJ31									
授業科目名 ＜英訳＞		ネパール語原典講読 Reading in Nepali III				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 藤倉 達郎			
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	火4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
ネパール語はネパールの国語であり、インドのシッキム州の公用語であることに加え、インドの他の州や、ブータン、ミャンマー等にも多くの話者がいる。近年では日本に在住するネパール語話者も10万人ほどに達している。またネパール語文学は19世紀以降、大きく発展した。ネパール語での新聞、雑誌、単行本等の出版活動も活発である。この授業はネパール語圏において、またはネパール語を用いて研究を行う学生を対象とし、ネパール語読解能力の向上を目的とする。											
【到達目標】											
研究に必要なネパール語読解能力を身につけ、論文作成の際にネパール語資料を用いることが可能になるようにする。											
【授業計画と内容】											
授業で読む文献は受講者の習熟度や研究関心を考慮しつつ、相談の上、決定する。毎回の授業では、受講者がそれぞれの担当箇所を音読し、その翻訳案を提示する。授業は15回行う。											
【履修要件】											
ネパール語の基礎的な運用能力。											
【成績評価の方法・観点】											
平常点。											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学修（予習・復習）等】											
各授業の前に指定された範囲のテキストを読み理解してくる。予習には2、3時間はかかると思われる。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 53306 LJ31									
授業科目名 <英訳>		南アジア・イスラーム論 Islam in South Asia				担当者所属・ 職名・氏名		大阪大学大学院言語文化研究科 山根 聡 教授			
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 前期集中	曜時限	5月6日金3・4・5	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
南アジアは世界で最も多いムスリム人口を抱え、イスラーム世界全体に対する政治的、思想的、社会的な影響力をもたらしてきた。本授業では、南アジアのムスリムの動態をさまざまな視点から考察し、イスラーム世界全体での南アジアの重要性について再検討したい。 （なお、この講義はグローバル地域研究専攻南アジアインド洋世界論講座の授業である。）											
【到達目標】											
現代イスラーム研究および南アジア研究において、南アジア・イスラーム論はその重要性を増しており、研究が盛んになりつつある。そこで、本講義を履修することで、南アジア・イスラームの歴史的経緯を概観し、先行研究に関する知識を把握したうえで、南アジアのイスラームがイスラーム世界および南アジアにいかなる意義を持っているかについて知ることができ、各自の研究テーマと重ね合わせて、問題意識を高めることを目標とする。											
【授業計画と内容】											
1 - 3 回 南アジアにおけるムスリムの歴史 4 - 6 回 「インド・イスラーム文化」について 7 - 9 回 ムスリムの近代化とイスラーム復興 10 - 12 回 文学と宗教 13 - 15 回 現代イスラーム世界における南アジア											
【履修要件】											
特別な予備知識は必要としない。ただ、それぞれが研究を進める地域と比較する視点を常に持ちながら受講していただきたい。											
【成績評価の方法・観点】											
出席状況により評価する。特に、出席時の積極的な姿勢を評価したい。											
【教科書】											
授業中に指示する 逐次資料を配布する。											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学修（予習・復習）等】											
配布資料等に関して、逐次予習・復習をしていただきたい。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 83314 SJ31									
授業科目名 ＜英訳＞		南アジア政治論 Politics in South Asia				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 中溝 和弥			
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	金3	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
南アジアは現在、大きく変化している。中国と並んで世界経済を牽引する存在として注目を集めるインドでは、下層階層が政治権力を奪権する下剋上の時代を迎えている。これと同時に、ヒンドゥー至上主義者が中央政府を掌握し、少数派であるムスリムに対する迫害がやむことがない。パキスタンでは軍政が倒れ、民主制へ移行した。このように南アジアは、民主主義と紛争・暴力の関係、民主主義と社会の平等化との関係、さらに多様性に富む社会における共生の可能性など、社会科学の重要な課題を考察する上で、貴重なフィールドを提供している。本演習においては、インド、パキスタン政治の基礎を学ぶことを通じて、現代世界が直面する重要な問題を考察することを目的とする。											
【到達目標】											
南アジア政治、とりわけ、インド、パキスタン政治に関する基本的な知識を身につけた上で、南アジア世界を超えて世界に存在する貧困や暴力、不平等、人類の共生といった重要な課題を考察する手がかりを得ることができる。											
【授業計画と内容】											
本演習では最初の6回を使って、インド政治に関する講義を行う。その上で、インド・パキスタン政治に関する文献を講読する。なお、受講生と相談の上、授業内容を変更する可能性がある。											
第1回 イントロダクション：「南アジア政治を学ぶ」 第2回 講義：植民地支配・独立運動 第3回 講義：独立運動・印パ分離独立 第4回 講義：【インド】会議派システムの時代 第5回 講義：【インド】会議派 - 野党システムの時代 第6回 講義：【インド】競合的多党制期、BJPシステムの時代 第7回 講義：【パキスタン】現代パキスタン政治の展開 第8回 演習：【インド】インドにおける政党システムの変化 第9回 演習：【インド】「会議派システム」の展開と崩壊 第10回 演習：【インド】アイデンティティ政党の台頭 第11回 演習：【インド】宗教暴動 第12回 演習：【インド】BJPシステムの成立 第13回 演習：【インド】多極共存型民主主義の可能性 第14回 演習：【パキスタン】インドとパキスタンの政治体制比較 第15回 総括：南アジア政治の展開											
----- 南アジア政治論(2)へ続く ↓↓↓ -----											

南アジア政治論(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点評価（課題、授業への参加状況、授業における発言等）：7割、期末レポート：3割

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）

中溝和弥『インド 暴力と民主主義——党優位支配の崩壊とアイデンティティの政治』（東京大学出版会）（独立後のインド政治は、主にこのテキストに基づいて講義します。）

粕谷祐子『アジアの脱植民地化と体制変動』（白水社、2022年）ISBN:978-4-560-09886-8（インドとパキスタンの体制比較は、本書の第7章に基づいて行います。）

その他の文献は、授業中に紹介します。

【授業外学修（予習・復習）等】

自分が担当する文献についてはもちろんのこと、担当しない文献についてもきちんと読んできてください。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーは特に指定しません。質問や研究相談などあれば、適宜受け付けます。授業後やメールで連絡をお願いします。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 53802 SB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル地域研究演習 Research Seminar on Global Area Studies I				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 グローバル地域研究専攻全教員			
配当 学年	1,2回生	単位数	3	開講年度・ 開講期	2023・ 前期	曜時限	水3	授業 形態	ゼミナール	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
グローバル地域研究について、グローカリゼーションと地域の固有性の相関性、アジア・アフリカの平和共生および生存基盤、イスラーム世界および南アジア・インド洋世界の特質などについて明らかにするとともに、グローバル地域研究の基礎的な問題群とアプローチの方法に関する演習をおこなう。											
[到達目標]											
グローバル地域研究の基礎的な問題群を理解し、様々なアプローチを主体的に検討する能力を身につける。											
[授業計画と内容]											
第1週 オリエンテーション 第2 - 14週 各自の研究報告を中心とする演習 第15週 まとめ											
[履修要件]											
博士予備論文審査にまだ合格していない者。											
[成績評価の方法・観点]											
発表内容および出席により評価するが、ゼミの中での積極的な姿勢も考慮に入れる。											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
(参考書) 授業中に紹介する											
[授業外学修(予習・復習)等]											
指導教員と相談しておこなう。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 53803 SB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル地域研究演習 Research Seminar on Global Area Studies II				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 グローバル地域研究専攻全教員			
配当 学年	1,2回生	単位数	3	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	水3	授業 形態	ゼミナール	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
グローバル地域研究について、グローカリゼーションと地域の固有性の相関性、アジア・アフリカの平和共生および生存基盤、イスラーム世界および南アジア・インド洋世界の特質などの分野に関する具体的な事例をとりあげ、研究課題の構築とそのアプローチの方法についての演習をおこなう。											
[到達目標]											
具体的な研究課題の構築とアプローチについて主体的に検討する能力を身につける。											
[授業計画と内容]											
第1週 オリエンテーション 第2 - 14週 各自の研究報告を中心とする演習 第15週 まとめ											
[履修要件]											
博士予備論文審査にまだ合格していない者。											
[成績評価の方法・観点]											
発表内容および出席により評価するが、ゼミの中での積極的な姿勢も考慮に入れる。											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
(参考書) 授業中に紹介する											
[授業外学修(予習・復習)等]											
指導教員と相談して決める。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 73804 SB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル地域研究演習 Research Seminar on Global Area Studies III				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 グローバル地域研究専攻全教員			
配当 学年	3-5回生	単位数	3	開講年度・ 開講期	2023・ 前期	曜時限	水5	授業 形態	ゼミナール	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
グローバル地域研究について、グローカリゼーションと地域の固有性の相関性、アジア・アフリカの平和共生および生存基盤、イスラーム世界および南アジア・インド洋世界の特質などの分野に関する総合的な問題把握と研究方法についての演習をおこなう。また、博士論文作成のために、多角的な視点からの評価や指導をおこなう。											
[到達目標]											
博士論文作成に向けての研究課題の明確化とアプローチの精緻化。											
[授業計画と内容]											
第1週 オリエンテーション 第2 - 14週 各自の研究報告を中心とする演習 第15週 まとめ											
[履修要件]											
博士予備論文の審査に合格した者。											
[成績評価の方法・観点]											
発表内容および出席により評価するが、ゼミの中での積極的な姿勢も考慮に入れる。											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
(参考書) 授業中に紹介する											
[授業外学修(予習・復習)等]											
指導教員と相談して決める。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 73805 SB31											
授業科目名 <英訳>		グローバル地域研究演習 Research Seminar on Global Area Studies IV				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授				グローバル地域研究専攻全教員	
配当 学年	3-5回生	単位数	3	開講年度・ 開講期	2023・ 後期	曜時限	水5	授業 形態	ゼミナール	使用 言語	日本語及び英語		
[授業の概要・目的]													
グローバル地域研究について、グローカリゼーションと地域の固有性の相関性、アジア・アフリカの平和共生および生存基盤、イスラーム世界および南アジア・インド洋世界の特質などの分野に関する先端的な問題群と研究方法についての演習をおこなう。また、博士論文についての相互討論を深め、創造的で自立的な研究へ向けての評価や指導をおこなう。													
[到達目標]													
博士論文作成の進展と、創造的で自立的な研究能力の獲得。													
[授業計画と内容]													
第1週 オリエンテーション 第2 - 14週 各自の研究報告を中心とする演習 第15週 まとめ													
[履修要件]													
博士予備論文の審査に合格した者。													
[成績評価の方法・観点]													
発表内容および出席により評価するが、ゼミの中での積極的な姿勢も考慮に入れる。													
[教科書]													
授業中に指示する													
[参考書等]													
(参考書) 授業中に紹介する													
[授業外学修(予習・復習)等]													
指導教員と相談して決める。													
(その他(オフィスアワー等))													
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。													

科目ナンバリング		G-AAA03 63806 GB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル地域研究論課題研究 Guided Research on Global Area Studies I				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 指導教員			
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 通年不定	曜時限	その他	授業 形態	ゼミナール	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
博士予備論文の基礎となる個別課題に関する学生の研究内容について討議し、フィールドワークの視点と方法を練り上げるための演習。											
[到達目標]											
博士予備論文に関する基本的事項を理解する。											
[授業計画と内容]											
指導教員の3名が、学生の博士予備論文の進捗状況に合わせて、随時、個別演習をおこなう。											
[履修要件]											
博士予備論文審査にまだ合格していない者。											
[成績評価の方法・観点]											
課題への積極的な取り組みとその達成度を評価する。											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
(参考書) 授業中に紹介する											
[授業外学修(予習・復習)等]											
自らの研究テーマに沿った資料の収集, 分析											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 73807 GB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル地域研究論課題研究 Guided Research on Global Area Studies II				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 指導教員			
配当 学年	3-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 通年不定	曜時間	その他	授業 形態	ゼミナール	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
博士論文の基礎となる個別課題に関する学生の研究内容について討議し、学際化と研究内容の深化を図るための演習。											
[到達目標]											
博士論文に関する基本的事項を理解する。											
[授業計画と内容]											
指導教員の3名が、学生の博士論文準備の進捗状況に合わせて、随時、個別演習をおこなう。											
[履修要件]											
博士予備論文審査に合格した者。											
[成績評価の方法・観点]											
課題への積極的な取り組みとその達成度を評価する。											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
(参考書) 授業中に紹介する											
[授業外学修(予習・復習)等]											
自らの研究テーマに沿った資料の収集, 分析											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 73808 GB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル地域研究論課題研究 Guided Research on Global Area Studies III				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 指導教員			
配当 学年	3-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 通年不定	曜時間	その他	授業 形態	ゼミナール	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
博士論文の作成に向けて、そこで提起された個別課題に関する学生の研究内容について討議し、それをさらに総合化・深化させるための演習。											
[到達目標]											
博士論文に関する事項の理解を総合化・深化させる。											
[授業計画と内容]											
指導教員の3名が、学生の博士論文作成の進捗状況に合わせて、随時、個別演習をおこなう。											
[履修要件]											
博士予備論文審査に合格した者。											
[成績評価の方法・観点]											
課題への積極的な取り組みとその達成度を評価する。											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
(参考書) 授業中に紹介する											
[授業外学修(予習・復習)等]											
自らの研究テーマに沿った資料の収集, 分析											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 53809 FB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル臨地演習 Global Area Studies On-site Seminar I				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 研究科教員			
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 通年不定	曜時間	その他	授業 形態	講義と実習	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
生態・社会・文化に根ざした地域の固有性を理解するとともに、地域が直面する現代的諸問題を研究課題として発見するためのフィールドワークの手法を習得する。											
【到達目標】											
フィールドワークに必要な基本的技法を身につける。											
【授業計画と内容】											
学生は教員とともに臨地調査の計画を立て（授業回数4回分）、その後教員の指導を受けながら臨地調査を行ない（授業回数10回分）、帰国後に指導教員の指導を受けながら報告書を作成する（授業回数1回分）。											
【履修要件】											
1 年次に臨地教育を受けた者。この科目の単位付与方法については、下記のサイトを確認のこと。 https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/edu/Overseas/docs/rinchienshu-1-2-3.pdf											
【成績評価の方法・観点】											
臨地調査への積極的な取り組みとその達成度を評価する。											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学修（予習・復習）等】											
自らの研究テーマに沿った資料の収集、分析が求められる。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 63810 FB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル臨地演習 Global Area Studies On-site Seminar II				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 研究科教員			
配当 学年	2-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 通年不定	曜時限	その他	授業 形態	講義と実習	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
地域が直面する現代的諸問題を研究課題としてフィールドワークをおこなう手法を習得する。											
【到達目標】											
自らの研究テーマを発展させるための応用的なフィールドワーク手法を身につける。											
【授業計画と内容】											
学生は教員とともに臨地調査の計画を立て（授業回数4回分）、その後教員の指導を受けながら臨地調査を行ない（授業回数10回分）、帰国後に指導教員の指導を受けながら報告書を作成する（授業回数1回分）。											
【履修要件】											
2年次以降で博士予備論文提出前に臨地教育を受けた者。この科目の単位付与方法については、下記のサイトを確認のこと。 https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/edu/Overseas/docs/rinchienshu-1-2-3.pdf											
【成績評価の方法・観点】											
臨地調査への積極的な取り組みとその達成度を評価する。											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学修（予習・復習）等】											
自らのフィールドに関連する資料の収集，分析が求められる。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

科目ナンバリング		G-AAA03 73811 FB31									
授業科目名 <英訳>		グローバル臨地演習 Global Area Studies On-site Seminar III				担当者所属・ 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 研究科教員			
配当 学年	3-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2023・ 通年不定	曜時限	その他	授業 形態	講義と実習	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
フィールドワークの過程で発見された具体的な研究課題について、国際機関やNGO、研究機関等において研究発表や討論をおこなうとともに、必要に応じて研究課題に即した実践活動をおこなう。											
[到達目標]											
フィールドワークで得られた自らの知見について、英語あるいは現地語でプレゼン・議論できるようになる。											
[授業計画と内容]											
学生は教員とともに研究発表や実践活動の計画を立て（授業回数4回分）、その後教員の指導を受けながら臨地でそれを行ない（授業回数10回分）、帰国後に指導教員の指導を受けながら報告書を作成する（授業回数1回分）。											
[履修要件]											
博士予備論文提出後に臨地教育を受けた者（インターンシップを含む）。ただし、博士予備論文提出後、そのセメスター内に臨地教育を受けた者は臨地演習 の単位とする。この科目の単位付与方法については、下記のサイトを確認のこと。 https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/edu/Overseas/docs/rinchienshu-1-2-3.pdf											
[成績評価の方法・観点]											
臨地調査への積極的な取り組みとその達成度を評価する。											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
[授業外学修（予習・復習）等]											
自らの研究テーマに沿った資料の収集、分析が求められる。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											